

事業概要書

事業名	臨床心理士による心のケア事業				
開始日	2011年4月1日	終了日	2012年3月31日	日数	300日間
団体名	NPO 法人 NPO 愛知ネット				

総額 (税込)	9,420,000 円	スタッフ人数	運営 3 人 専門家 3 人
---------	-------------	--------	----------------

事業目的	被災者が「自分たちの存在が社会から忘れられていく」と感じないように、長期にわたり被災者の近くに存在する専門家（臨床心理士等）を派遣し、心的外傷後ストレス障害（PTSD）を予防する。	
事業全体の概要	東日本大震災にて甚大な被害を受けた地域では、肉親を失ったり、津波で家が流失したりして心理的に影響を受けた被災者が数多くおり、長期にわたって被災者の心に寄り添う心のケアが必要とされている。特に、小中学校及び高校の教諭らが、心に傷をおった児童・生徒への対応に戸惑いを感じており、児童・生徒の心的外傷後ストレス障害（PTSD）対策についてのニーズが増大している。また、子供の親への指導、対策も急務である。それらニーズに対応するため、避難所及び仮設住宅への巡回カウンセリングの実施、また、トレーラーハウスを活用してカウンセリングルームを開設し、特にメンタルケアが必要な被災者へのカウンセリングを行う。小中学校及び高校の教諭や子供の親に対して心的外傷後ストレス障害（PTSD）対策についての勉強会などを実施する。事業全般にわたって、岩手県大船渡市や地元 NPO、教育関係者、また地元の臨床心理士や精神科医等と連携して、継続してケアが可能な体制を構築する。	
	事業内容(事業種別（コンポーネント）ごと)	裨益者（誰が、何人）
	1. 岩手県大船渡市災害対策本部に編成された心のケアチーム（NPO 等 8 団体から成る）に参加し、避難所及び仮設住宅における巡回カウンセリング及び学校教員や子供の親への対策指導や勉強会の実施を行う。当団体派遣の臨床心理士が交代でカウンセリング等にあたる。（カウンセリングが必要な被災者の早期発見とメンタルケアの推進）	被災者 9000 人／延べ
	2. 上記心のケアチームのもと、岩手県大船渡市リアスホール（市民文化会館・市立図書館）にトレーラーハウスを設置してカウンセリングルームを開設し、カウンセリングを行う。当団体派遣の臨床心理士が交代でカウンセリング等にあたる。（カウンセリングの必要な被災者へのメンタルケア。必要とあれば精神科の医師への紹介）	被災者 500 人／延べ
	3. 地元専門家（臨床心理士・精神科等）との連携と協働（岩手県内の臨床心理士・地元有資格者と協働）	被災者 500 人／延べ

